1821086松尾祐介です。

異種Webサーバを対象とした応答速度に基づくロードバランサの開発と評価という研究内容で発表させて頂きます。

提案方式について図を使って説明します。

ステップ１～５の5つのセクションに分けられます。

[STEP-1]では、冗長的で性能が不均一なWEBサーバを用意します．

[STEP-2]では、それぞれのサーバの応答速度を測るため，サーバにリクエストを送って応答速度を返す「応答速度計測プログラム」を作成し利用する．

[ STEP-3 ] です。STEP-2で計測したデータは考案した応答速度評価アルゴリズムを用いてL1～Lnのn段階で評価付けをおこないます．

評価は主観的になりやすい為，先ほど、関連研究に上げた、「Webサイトの反応時間の遅延と，それに対するユーザの反応」や「RAILモデル」を参考に評価を行います.

[ STEP-4 ]では、評価されたデータを評価済み応答速度としてデータベースへ保管します。

[ STEP-5 ]でロードバランサはこのデータベースへアクセスすることで、

サーバの状態に応じて割り振り方法を動的に変化させることが可能になる．

＜結果スライド＞

実験結果です。ラウンドロビンの応答速度は、0.4秒なのに対して、プロトタイプは0.15秒でした。これは、応答速度が遅いサーバにつなぐ頻度を減らすことが出来たからです。  
実験結果より，異種環境において，提案システムを利用すると応答速度が向上することが確認できました．